

特定家畜人工授精用精液等の報告書（令和4年（2022年）分）について

令和4年（2022年）分の報告から本様式（様式第28号）を使用してください。

令和4年分については、令和4年1月～12月の運営状況を記入してください。

精液、受精卵の両方について家畜人工授精所で取り扱っている場合は、それぞれ1枚作成の上、提出してください。

記入例

家畜人工授精所における特定家畜人工授精用精液等の業務に関する報告書

2023年 3月 30日提出

様式

都道府県知事 殿

家畜改良増殖法施行規則第49条に基づき、2022年1月1日から12月31日までの家畜人工授精所の運営の状況を次のとおり報告します。

- 1 家畜人工授精所の管理番号：34H123
- 2 家畜人工授精所の名称及び所在地：広島県家畜人工授精所 広島市中区基町 10-52
- 3 家畜人工授精所の業務の別：1, 2, 4
- 4 報告対象物：1
- 5 前年12月31日時点の保存数量：200
- 6 家畜人工授精所の運営の状況

特定家畜人工授精用精液等に係る許可証に記載されている業務の別を、備考欄より該当する番号を選んで記入してください。

（単位：本）	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
生産数量		60	80	50	60	40	30	10	60	50	80	90	10	620
譲受数量		30	20	10	10	20	10	30	10	0	0	0	0	140
譲渡数量		20	10	50	30	10	40	30	40	20	10	0	0	260
利用数量		0	10	0	20	0	0	30	0	0	20	0	0	80
廃棄又は亡失した数量		0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
月末時点の保存数量		270	345	360	380	430	430	410	440	470	520	610	620	
備考				亡失した精液の発見+5										

令和3年12月31日時点の保存数量を記載してください

備考

- 1 年は西暦で記載すること。
- 2 3の業務の別は次の区分により番号を記入すること。
 - 1 家畜人工授精用精液の採取及び処理の業務
 - 2 家畜体内受精卵の採取及び処理の業務

- ・生産数量：種付台帳参照
 - ・譲受数量，譲渡数量，廃棄又は亡失した数量：譲渡等記録簿参照
 - ・利用数量：家畜人工授精簿参照
- （参考）譲受数量＝搬入した数量，譲渡数量＝搬出した数量
利用数量＝自家利用の数量

し、体外受精を行い、体外受精を行い、並びに報告対象物ごとに報告書を作成してください。受精卵の場合、体内受精卵と体外受精卵の数量はまとめてください。

ること。

事由と数量を記載すること（例：亡失した精液の発見 + 2）。

（日本産業規格A4）